入選

※掲載順は氏名あいうえお順です

チーム部門

選者　大森静佳氏
小島なお氏

ぬいぐるみ強い力で抱きしめて安心の中はじくっと痛い
宮城県気仙沼高等学校　2年　石原 莞奈

加熱したトマトの水の溢れゆく瞼の裏が目に近すぎる
名古屋高等学校　2年　井上 蒼太

遠雷に帰る居場所がないのなら記憶ごとつれていってほしい
茨城県立結城第二高等学校　3年　木下 侑

やませ吹く心の穴の埋め方はニーチェもカミュも記してくれず
神奈川県立光陵高等学校　1年　小池 陽子

おとうとの絵日記ふっと見てしまう死にたくない！とうすく書かれて
海城高等学校　2年　小井沼 篤

君と会うためだけにある地図記号作れますから作りますから
宮城県気仙沼高等学校　2年　志賀 壮太

郡上八幡の水路で王子様に恋してそうなおもしれー水
愛知県立時習館高等学校　2年　竹内 銘

走馬灯は記憶よりも穏やかで赤みの抜け落ちた三拍子
静岡県立沼津東高等学校　2年　辻 佐知子

お名前がなかむらえりの頃だった　安全ピンが光る季節の
神奈川県立光陵高等学校　2年　中村 えり

理科室の水溶液から見る君はちょっと青くてちょっと錆びてた
神奈川県立光陵高等学校　2年　眞壁 春菜

スーツから香の匂いが今月の水道代は明日払うか
洗足学園高等学校　2年　槙野 志帆

席替えのあとの水筒ぬるい水ばかりを飲んで終わる一日
宮城県古川黎明高等学校　2年　山口 聡太

（応募総数：七十五首（二十五チーム））

個人部門

選者　大森静佳氏
小島なお氏

A組は花園になる　戦争が一つ残らず終わった午後に
洗足学園高等学校　1年　淺地 凪

朝八時　電車の隅で「疲れた」を「えらい」に変えた君は右利き
高田高等学校　1年　荒巻 希

えいちつーおーと初めて言うときの「好き」って気づくみたいな気持ち
宮城県気仙沼高等学校　2年　石原 莞奈

はつなつの静かな朝に目を覚まし世界の過去にマーカーをひく
鳥取県立鳥取東高等学校　3年　井戸垣 歩希

夢だけどしばらく海辺に居て君と夕日の仕組みを知るための夢
神奈川県立光陵高等学校　2年　植草 結良

張り詰めた射場の中を矢は走る瞬きもせずぼくは見ていた
鳥取県立鳥取東高等学校　3年　大久保 諒祐

靴下は左右を逆に　離された双子の犬はさびしかろうから
宮城県仙台二華高等学校　3年　加藤 陽花

泣きながら木を描いているただ落ちる涙を拭くと黒くなった手
鳥取県立鳥取東高等学校　3年　川島 旺

誕生日順に並んでくださいで僕らは顔を見合わせている
神奈川県立光陵高等学校　1年　倉林 桜太郎

もう少し頑張りたいって思うんだ　水分多めの空色でいい
高田高等学校　3年　樽松 望乃

スポンジが水吸い込んでゆくの見て何か忘れてゆきそうなんだ
名古屋高等学校　2年　近藤 理仁

せっかちな僕が君とならうざったい西瓜の種もおそろいの黒
愛知県立安城東高等学校　1年　澤田 英門

記録では君が何度もこの風を自分のものにしたことがある
宮城県気仙沼高等学校　2年　志賀 壮太

桜散る道を綺麗と思うたび　こんな僕まで春にいていい
愛知県立時習館高等学校　2年　鈴木 乙女

ぬいぐるみとぬいぐるみとぬいぐるみ　君は私を嫌うでしょうね
星野高等学校　2年　鈴木 海南

もう少しやさしい人になれないかわかめスープの小さき取手
星野高等学校　2年　関口 和奏

みずからに「笑」と伝える細胞になって「笑」を誤送しまくりたい
名古屋高等学校　3年　関谷 諒太

個人部門

選者　大森静佳氏
小島なお氏

ファミレスの氷一つが多くてもどうしてもその略称が嫌
星野高等学校　2年　永塚　真歩

雨粒をひとつぶ瞳で受け取って地球と二秒恋人になる
神奈川県立光陵高等学校　2年　中村　えり

起承転結の起でもう無理でした　いっそ布団と物語する
神奈川県立光陵高等学校　2年　西村　真穂

『神は死んだ』死んだというのなら動かない心臓がどこかにある
成城高等学校　3年　沼田　航輝

「冬の朝靄の青さを知っている」avoid」の意味はわからないけど
兵庫県立西宮香風高等学校　2年　東　青空

君が言う形象文字の「彗」には目を光らせたまごっちがいる
神奈川県立光陵高等学校　3年　古川　眞帆

零したてのインクが蝶に似てるから　追伸　夜の色が濃くなる
神奈川県立光陵高等学校　2年　眞壁　春菜

美容師にどこが痒いと聞かれれば心の奥の奥と言いたい
名古屋高等学校　2年　三輪　修平

ふと夜の深みに触れたくなったから蛾の剥製の文様を見る
神奈川県立光陵高等学校　3年　森岡　千尋

この雨のうちのいくつが「助けて」と口にするのか知らず、横浜
神奈川県立光陵高等学校　3年　柳原　萌々子

（応募総数：二百三十一首）